

福寿会と日之影小児童が交流



地域 リポーター

日之影町神影(みかげ)地区の高齢者らによる福寿会は、町立日之影小学校(川野敏校長)と折々に交流しています。8月20日には、同小の「花いっぱい運動」をお手伝いし、同日には一緒に七夕飾り作りをしました。

花いっぱい運動をお手伝い 町内に花を配る

「花いっぱい運動」は、児童が種から育てたナゴト草を、町内の各家庭に配付するものです。梅雨の晴れ間に



地域の人に花苗を手渡した

リカーを轉して花壇を造る、2年生



行われ、全校児童30人が参加。その配付作業を手伝いました。同町の商工会女性部も参加しました。

まず校長先生から配付する際の注意や説明、担当の先生からは花の名前を手伝う参加者の紹介などをし

ただき、全校児童が元気に「よろしくお願ひします」とあいさつがありました。また、水分補給用のお茶をいただきました。

花は、豊かに強いリーゴルト、日々草、メランポジウムなど、いずれも夏を凌る種類で、立派に成長していました。

早速、児童たちは歩いて町中へ。花苗はリヤカーや軽自動車で搬送しました。

地区の方々は、いつも楽しみにしているようです。児童から手渡されるというものが、大事に咲かすまきと、お礼の言葉が返ってきました。「私たちが育てた花苗です。大事に咲かせてください」と、1、2年生もすっかり呼び掛けていました。

時々スズを外して水分を取り、汗を拭き

ササの飾り付け



拭き、1年生の人は初めての経験でしたが、2年生の人と共にしっかり活動ができました。私どもも共に地区を回り、いっ汗をかくことができた喜びを頂きました。

各家庭に配付後は、学校の花壇にもホーチウソクなどを植え付けました。学校と町中に、夏の花が咲き誇る日が楽しみです。

七夕飾り作り楽しむ

七夕飾りは、1、2年生計8人と先生方と一緒に作りました。

自己紹介をし、七夕についての話を聞いた後、3班に分かれて活動。「コロナ終息・収束願う」など思いの願ひ事を書いた短冊や趣向を凝らした飾りなどを手に取り、ササに付けていきました。

立派なササは、今回



きれいにできた七夕飾りを写真に記念撮影

先生から「どんなところが良かったかな」と尋ねられ、福寿会の皆さんと一緒に飾り付けしたことが楽しかったと言ってくれたので、私どもうれしく、児童と先生方の交流の場を毎年計画していただいていることに感謝します。

飾り付けを済ませると、七夕飾りが掲げられる踊り場へ、班ごと、笑顔いっぱい記念写真を撮ってもらいました。

飾り付け後に設けられている給食タイムは、新型コロナウイルスの感染防止のため、昨年に続き今年も中止となりましたが、コロナに負けない児童の出陣が、何よりのご褒美です。

梅雨の晴れ間に児童、先生方との七夕交流ができた、戸惑いがありました。児童や先生方に伝えられ、学校を後にしました。

(リポーター)日之影町の飯牛静香さん

も環境整備員の戸高健一さんから準備をしていただきました。

1年生は初めてなので「これ、どんなふうにすると」と先生に尋ね、つる方を教えてもらっていました。

完成すると「わーきれい」「すごい」と歓声が上がりました。今年も立派に出陣があり、児童の喜ぶ姿が見られて良かったです。